

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
233131111	教育課程論 Theory of Educational Curriculum	松橋 俊輔			2	選択	3前期

科目の概要

本科目は、教育課程を考えるための基礎となる知識、現在の学習指導要領の要点、カリキュラム・マネジメントの意義や方法について学ぶことを目的とする。これを通して、DP2「社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能」の基礎を培うとともに、DP6「生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる」教員となるための関心を養う。

学修内容	到達目標
① 現在の我が国における教育課程を考えるための前提となる基礎的な知識（制度、歴史、原理）を学ぶ。 ② カリキュラム・マネジメントの意義や方法を含む、現在の学習指導要領の要点を学ぶ。 ③ カリキュラムの多様なあり方や考え方に触れ、子ども・社会とカリキュラムの関係について理解を深める。	① 現在の我が国における教育課程を考えるための前提となる基礎的な知識（制度、歴史、原理）について説明することができる。 ② カリキュラム・マネジメントの意義や方法を含む現在の学習指導要領の要点について説明することができる。 ③ カリキュラムの多様なあり方や考え方に触れ、子ども・社会とカリキュラムの関係について自らの理解を述べるができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	授業の目標を理解した上で、積極的・能動的に学習に取り組む。
	働きかけ力	
	実行力	課題に計画的に取り組み、期限を守ってやり遂げる。
考え抜く力	課題発見力	授業内容に対して疑問点や考えたい点を見出す。
	計画力	
	創造力	レポートや発表において内容や表現を工夫する。
チームで働く力	発信力	自らの知識の考えを、論点や理由を整理して伝える。
	傾聴力	他者の知識や考えに耳を傾け、メモを取るなどして適切に受け取る。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	時間や期限を守って授業や課題に取り組む。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：『中学校学習指導要領（平成29年告示）』あるいは『小学校学習指導要領（平成29年告示）』
 参考文献：『【総則編】中学校学習指導要領（平成29年告示）解説』あるいは『【総則編】小学校学習指導要領（平成29年告示）解説』
 オープンエデュケーション：京都大学オープンコースウェア「資質・能力を育てるカリキュラム・マネジメントの実現のために」
 (<https://ocw.kyoto-u.ac.jp/course/23/>)

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：教職に関する科目であり、1年の「教職入門」「教育原理」「教育制度論」等における基礎的理解を踏まえ、2年次の「教育方法論」「生徒指導論」等における発展的理解の上で、本次の「特別活動の指導法」「総合的な学習の時間の指導法」等と並んで専門的理解を深め、4年次の「栄養教育実習」等における実践的理解へとつながっていく科目である。
 資格との関連：栄養教諭一種免許状

学修上の助言	受講生とのルール
自らの経験を授業内容や他の受講生の考えで相対化しつつ、教育観や教育へのビジョンを主体的に深めていってください。	受講者は学び合う仲間として相互に責任を負います。互いのためになる行動をしていきましょう。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント				
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①								
				②								
				③								
	平常評価	小テスト		40	①	✓				教育課程に関する基礎知識と、授業でのディスカッションを経て形成された自らの考えを問う。【獲得40%：基礎知識を再生できる／活用30%：自らの理解を説明できる／解決30%：自らの意見を記述できる】		
					②	✓						
					③	✓						
		レポート		50	50	①	✓					毎回の授業でのPCRシートへの取り組みと小レポートで評価する。【獲得30%：基礎知識を再生できる、活用40%：自らの理解を説明できる、解決30%：自らの意見を記述できる】
						②	✓					
③						✓						
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			0	0	①							
					②							
	③											
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓			「社会人基礎力」欄に記載の通り。				
				②	✓							
				③	✓							
総合評価割合			100									

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>到達レベルS 教育課程を考えるための前提となる基礎的な知識（制度、歴史、原理）に関する正確な知識をもとに、現在の学習指導要領の要点を正しく理解した上で、カリキュラムと子ども・社会の関係について自らの考えを整理して述べることができる。</p> <p>到達レベルA 教育課程を考えるための前提となる基礎的な知識（制度、歴史、原理）に関する知識をもとに、現在の学習指導要領の要点を理解し、カリキュラムと子ども・社会の関係について自らの考えを述べることができる。</p>	<p>到達レベルB 教育課程を考えるための前提となる基礎的な知識（制度、歴史、原理）に関する或る程度の知識をもとに、現在の学習指導要領の要点を知り、カリキュラムと子ども・社会の関係に関して自らの考えを部分的に述べるができる。</p> <p>到達レベルC 教育課程を考えるための前提となる基礎的な知識（制度、歴史、原理）に関する最低限度の知識をもとに、現在の学習指導要領の要点をおおよそ知り、カリキュラムと子ども・社会の関係について考えてみるができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	イントロダクション —教育課程の役割とその編成の目的・意義	講義	現行学習指導要領の特徴のいずれかについて、疑問点や知りたいことを挙げるができる。	(予習・復習) PCRシートに取り組む (Googleフォーム)。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
2	教育課程に関する法的規定 —学習指導要領の位置・意義	講義 ディスカッション 予習・復習のフィードバック	日本の教育課程に関する法や制度について、基礎的な知識を他者に説明することができる。	(予習・復習) PCRシートに取り組む (Googleフォーム)。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
3	教育課程編成の方法	講義 ディスカッション 予習・復習のフィードバック	教育課程編成の方法に関する基本的な知識について他者に説明することができる。	(予習・復習) PCRシートに取り組む (Googleフォーム)。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
4	学習指導要領の歴史と原理(1) —戦後新教育から「詰め込み」まで	小テスト(1～3回分) 講義 ディスカッション 予習・復習のフィードバック	「ゆとり」と「詰め込み」という言葉で表現されるような学習指導要領の変遷について基礎的な知識を問う簡単な問題に答えることができる。	(予習・復習) PCRシートに取り組む (Googleフォーム)。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	学習指導要領の歴史と原理(2) —「ゆとり教育」とその見直し	講義 予習・復習のフィードバック	「経験主義」と「系統主義」という言葉で表現されるような学習指導要領の変遷について基礎的な知識を問う簡単な問題に答えることができる。	(予習・復習) PCRシートに取り組む (Googleフォーム)。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	現行学習指導要領の特徴 (1) コンピテンシー・ベースのカリキュラム	講義 予習・復習のフィードバック	「深い学び」について基礎的な知識を問う簡単な問題に答えることができる。	(予習・復習) PCRシートに取り組む (Googleフォーム)。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7	現行学習指導要領 (2) 「深い学び」への注目	小テスト 講義 ディスカッション 予習・復習のフィードバック	「深い学び」について基礎的な知識を問う簡単な問題に答えることができる。	(予習・復習) PCRシートに取り組む (Googleフォーム)。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	現行学習指導要領 (3) 「深い学び」の実際	講義 ディスカッション 予習・復習のフィードバック	「深い学び」の授業における具体的なあり方について基礎的な知識を問う簡単な問題に答えることができる。	(予習・復習) PCRシートに取り組む (Googleフォーム)。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	カリキュラム評価とカリキュラム・マネジメント	講義 ディスカッション 予習・復習のフィードバック	カリキュラム・マネジメントとは何であるかについて基礎的な知識を問う簡単な問題に答えることができる。	(予習・復習) PCRシートに取り組む(Googleフォーム)。 オープンエデュケーション動画の視聴。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	よりよいナショナルカリキュラムとは?	小テスト(4~8回分) 講義 ディスカッション 予習・復習のフィードバック	「学力」を目標としたカリキュラム観について自分の意見を持つことができる。	PCRシートに取り組む。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
11	学校カリキュラムの変容 (1)「個別最適な学び」の可能性	講義 ディスカッション 予習・復習のフィードバック	「個別最適」の概念が示すカリキュラムの在り方について自らの考えを述べることができる。	(予習・復習) PCRシートに取り組む(Googleフォーム)。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	学校カリキュラムの変容 (2)「探究的な学び」の可能性	講義 ディスカッション 予習・復習のフィードバック	「探究」の概念が示すカリキュラムの在り方について自らの考えを述べることができる。	(予習・復習) PCRシートに取り組む(Googleフォーム)。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
13	学校カリキュラムの変容 (3)学校改革の一潮流	講義 ディスカッション 予習・復習のフィードバック	イェナプランの考え方を取り入れた学校改革について自分の意見を持つことができる。	(予習・復習) PCRシートに取り組む(Googleフォーム)。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	「学校」のオルタナティブへの模索	講義 ディスカッション 予習・復習のフィードバック	オルタナティブな「学校」の現状について基礎的な理解を他者に説明することができる。	(予習・復習) PCRシートに取り組む(Googleフォーム)。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	まとめ	講義 小レポート 予習・復習のフィードバック	授業全体を通しての自らの学びや気づきを振り返ることができる。	(予習・復習) PCRシートに取り組む(Googleフォーム)。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力